

FD Information

CONTENTS



- 授業インタビュー ▶ 1
FD推進 活動レポート ▶ 2
平成26年度前期「授業アンケート」の実施
FD講演会の実施
「授業の公開・参観」(前期)の実施
平成26年度「大学院生アンケート」の実施について ▶ 3
FD交流会(事例発表)の開催について ▶ 4
FD講演会の開催について ▶ 4
FD関連図書のご案内 ▶ 4

第18号

2014

October

授業インタビュー

本誌を通じて、それぞれの先生方の授業に対する考え方や様々な授業工夫について情報共有を図り、少しでもご参考になればという思いから、授業インタビューを実施しました。

発達教育学部 児童学科 准教授 黒田義道 先生

授業名★仏教学ⅠA／ⅠB

内容★1回生を対象とした必修の授業です。本授業では、本学の建学の精神である「親鸞聖人の体せられた仏教精神」について学びます。本講の目的は、釈尊の生涯と教えについて、基礎的な事項、考え方を習得し、仏教を自らの人生を根本から考えるヒントとしてもらうことです。なお、3回生では「仏教学ⅡA／ⅡB」が必修となっており、親鸞聖人の生涯と教えについて学びます。

Q 授業で心がけている点について教えてください。

A 受講生は、必ずしも仏教に関心を持っているわけではなく、宗教全般に対する不適切な先入観を持っていることもあります。信仰を押し付ける趣旨の授業ではないことを十分に説明することや、宗教、仏教に対する誤った認識を解きほぐすこと、学生の関心を汲み取ることにいつも気を遣っています。

Q 特に工夫している点はありますか。

A 取り上げる内容を可能な限り絞り込む代わりに、その理解を徹底するように努めています。特に重要な部分では、日常生活の出来事に置き換えて、仏教が問にかけている問題を具体的に示すようにしています。簡単なクイズやDVDなどの視聴覚教材を用いることもあります。

Q 自発的な学びを促す工夫はありますか？

A 独自の出席票を作成し、感想や質問、理解度を記入してもらっています。すぐれたコメントは、次回以降の授業時に紹介、回答や補足を行っています。また自主レポートの提出を推奨しています。レポートのテーマは博物館などの見学記録や、大学内外での仏教行事への参加記録も選択できるようにしています。

Q 最後に一言。

A 自分の授業の進め方は、自分が受けてきた授業の枠内に収まりがちだと感じます。その枠を取り払えるよう、努めたいと思います。

1 平成26年度前期「授業アンケート」の実施

授業の改善、教育の質向上に資することを目的として、平成26年度前期授業期間に「授業アンケート」を実施しました。

【後期】実施期間：平成26年7月7日(月)～8月2日(土)

対象科目：平成26年度前期開講科目

(通年開講科目、前々半開講科目、受講者数10名未満の科目(希望する場合は実施可)は除く)

実施件数：749科目(なお、所見の提出は530科目)

※科目数について…専任教員は、担当授業の中より任意に選択した2科目(2クラス)以上。

非常勤講師は、任意に選択した1科目(1クラス)以上。

★アンケート集計結果に新たに「相関係数」を追加しました。

数値同士の関係性を検証する指標として、今回の集計結果より「総合評価(満足度)<Q10>」と「その他設問<Q1～Q9>」の「相関係数」を追加しました。

2 FD講演会の実施

日時：平成26年7月30日(水) 14時45分～16時15分 会場：S校舎306多目的教室

昨年実施した「FD講演会に関するアンケート」を参考に、次回聞きたいテーマとして要望が多かった「アクティブ・ラーニング」「双方向型授業」をテーマに取り上げ、外部講師を招いて講演会を実施しました。

当日は、関西大学教育開発支援センター教育推進部より三浦真琴教授を招き「アクティブ・ラーニング 事始め」と題して、アクティブ・ラーニングの現状や課題、また、三浦教授が“学生とつくる授業”、“学生がつくる授業”を実践されて感じられた学生中心主義の意味などについて講演いただきました。

後半には、一定の規則性を持たせたテーマを提示し、参加者間で活発な意見交換を行いながら、少人数のグループを完成させていくグループワークが行われ、効果的なグルーピングの手法について教授いただきました。

当日は48名の教職員にご参加いただき、実施後のアンケート結果においては「アクティブ・ラーニングの真の意味が理解できた」との回答や「グループワークは授業に取り入れていたが、グルーピングまではきちんとできていなかったの、後期から取り入れていきたい」との感想も寄せられました。

今後もFDに関するテーマを設定し、外部講師を招いた講演会を実施する予定です。ご要望など、どうぞお気軽にセンターまでお寄せください。よろしくお願い申し上げます。



三浦先生ご講演の様子



グループワークの様子

★学内WEBにて当日の収録内容を公開しています！

当日の講演会の内容について、ビデオ収録を行いましたので、学内WEBの「教職員専用」ページにて公開しています。ぜひご活用ください。

※コンテンツの視聴にはプレーヤーソフトウェア
(Microsoft Silverlight) が必要です。

教職員専用をクリック



3 「授業の公開・参観」(前期)の実施

実施期間：平成26年度前期授業期間(試験期間を除く)

FD推進委員会では、FD活動の一環として、教員相互の授業改善の一助とすべく、公開授業を実施しています。平成26年4月11日付文書にて非常勤講師を含む全教員に公開授業への協力をお願いし、合計49名66科目が公開されました。

その後実施したアンケートの集計結果より、件数は少ないながらも参観実績があったことがわかりました。また、同アンケートでは授業の公開・参観に関するご感想・お気づきになった点について貴重なご意見をいただきました。

今後の実施に向けての参考としたいと考えています。

★現在、後期授業期間(試験期間を除く)の授業の公開・参観を行っています。

現在43名54科目が公開されています。

授業の方法や内容に関して、個々の教員が授業改善のきっかけを得ること、および公開授業のさらなる充実化・活性化をはかるため、専任の先生方は、可能な限り(1回以上)公開授業の参観をお願い申し上げます。また、非常勤講師の先生方につきましては、任意にご参観下さい。

なお、公開授業の詳細については、10月に配付しました「平成26年度後期公開授業一覧」または学内Webの教職員専用ページをご確認ください。

平成26年度「大学院生アンケート」の実施について

FD推進委員会では、今後の大学院教育のあり方(授業や研究指導のあり方等)などを検討するための参考として、毎年、全大学院生(休学中の者は除く)を対象に「大学院生アンケート」を実施しています。

今年度も以下のとおりアンケートを実施し、集計結果をもとにFD推進委員会にて各研究科の総括結果(改善方法に関する報告)をとりまとめた後、各研究科委員会に報告いたします。また、大学院生へのフィードバックを目的として、学内WEB上で総括結果を公開します。

1. 実施期間

平成26年11月~12月

2. 対象

今年度に在籍している全大学院生(但し、アンケート実施時点において休学中の者は除く)。

3. 実施方法

指導教員より、封入したアンケート用紙を大学院生に配付し、記入後、配付時の封筒に封入の上、大学院学生研究室設置の投函箱または学部事務課FD推進センター(L校舎1階)、各校舎分室まで提出。

4. 提出締切

平成26年12月26日(金)



F D 交流会（事例発表）の開催について

各学科・専攻等で実施されている「FDの取り組み」や、各教員が取り組んでいるFDについてその事例を発表し、他学科・専攻等の取り組みの情報共有及び参考にしていただきたく、「授業の工夫について」をテーマとした交流会（事例発表）を下記のとおり開催いたします。

多数ご参加くださいますよう、ご案内いたします。

1. 日 時 平成26年11月12日(水) 14時45分～16時15分（予定）

2. 会 場 A校舎402教室

3. 発表者 事例発表① 14:50～15:30
松岡 靖 准教授（発達教育学部 教育学科）
「Prezi（プレゼンテーションソフト）を用いた講義内容の焦点化を図る指導方法」
事例発表② 15:30～16:10
川添 禎浩 教授（家政学部 食物栄養学科）
「管理栄養士養成課程における“環境と健康”の教育について」



昨年度のFD交流会の様子

F D 講演会の開催について

平成26年7月30日(水)に実施したFD講演会に続いて「アクティブ・ラーニング」をテーマにFD講演会を開催します。当日は学外より講師を招き、アクティブ・ラーニングの現状や実践事例、授業運営上のさまざまな留意点や課題などについて、講演いただきます。

多数ご参加くださいますよう、ご案内いたします。

1. 日 時 平成26年12月10日(水) 14時45分～16時15分（予定）

2. 会 場 Q校舎3階 Q301講義室（予定）

3. 講 師 濱名 篤 氏（学校法人 濱名学院 理事長、関西国際大学 学長）

4. 講 題 「グローバル化時代の教育成果とアクティブ・ラーニング」

FD関連図書のご案内

FD推進センターでは、FDに関する図書資料、他大学のFD報告書及びニュースレターを閲覧できるようにしています。ご希望の方はセンターまでご連絡ください。

また、FD推進センターで所蔵しておいた方がよいと思われる書籍がありましたら、各学科・研究科のFD推進委員会委員またはFD推進センターまでご推薦ください。



大学の教育力—何を教え、学ぶか

金子元久(著)
発行所：(株)筑摩書房
出版年：2007年
ISBN 978-4-480-06384-7

【内 容】

本書では、結論として、現代社会の急速な構造転換の中で、大学が社会との関係を基本的に構築しなおすことが、大学の教育力を強化するための基本的な条件であることを示している。また、現代社会が求めるものは人間の能力の多面的な発達であり、大学には社会と開かれた対話を通じて自律的に自らを変革することが求められると述べられている。

おわりに
FD推進にかかる取り組みについて、今後も随時計画・実施を進めていきたいと考えています。ご意見・ご要望などございましたら、お気軽に事務局（FD推進センター）までご連絡ください。

また、FD推進委員会の委員の先生方を通じてご案内しております、他大学・団体等が開催するセミナーやシンポジウム等につきましても、FDへの理解を深める一助として、是非ご参加くださいますようよろしくお願いいたします。

- ◆発行日 平成26年10月31日
- ◆発行者 京都女子大学FD推進委員会
- ◆事務局 教務部学部事務課 FD推進センター
TEL：075-531-7045、9121
E-mail：gakuji@kyoto-wu.ac.jp（学部事務課）
nisiyama@kyoto-wu.ac.jp（担当：西山）

